

SNS 通信 2 月号

今月は、実際にあったスマホ・ネットトラブル事例と防止策を紹介します。

事例①: ストーカー被害「瞳に映った風景から自宅を特定して……」

アイドル活動をしている女性がネットにアップした写真から、その瞳に映っている景色から最寄駅を特定し、自宅までストーカー行為を働いた男が 2019 年に逮捕されました。「TikTok」などの動画投稿アプリが中高生の間でも流行っていますが、動画や写真に映り込んだ景色やアイテムから、個人情報や場所を特定することは簡単にできてしまいます。動画だと一瞬の映り込みなどを見逃しがちですが、静止画の画像は、特徴的な建物が映り込んでいたり、背後の机に自分の名前が書いてあるノートが置いてあったり、細かなところからも個人情報の特定につながるので、注意が必要です。**静止画の画像は、SNS や HP にアップする前にしっかりチェックしましょう。**

事例②: 著作権侵害「漫画を気軽にアップロードして逮捕に……」

2010 年、愛知県の中学生在が漫画作品を「YouTube」に無断でアップロードして逮捕された事件がありました。「YouTube」のユーザーとして初めて、著作権侵害で逮捕された事例です。『ネット上の情報は無料!』と思っている人は多くいます。音楽のサブスクリプションサービスは一般化しつつありますが、お金にあまり余裕がない中高生は、「YouTube」の音源を抜き取る違法アプリなどを使って音楽を聴く人も多いのが現状です。ネットの画像や、雑誌のページを写真に撮って気軽に SNS に投稿してしまう人、好きなアニメのキャラクターやアーティストの写真を SNS のプロフィール画像にしている人もよく見かけます。**ネット上のコンテンツにも著作権や肖像権というものがあるということを大人がしっかり教えていきましょう。**

《出典》 鈴木朋子さん著『親が知らない子どものスマホ』日経 BP より

若者たちの SNS、ネット実情と、親として知っておくべき知識、注意点を丁寧に解説しています。子どものスマホデビュー前に読んでおく役に立つ本